

○要介護認定に関する主な課題

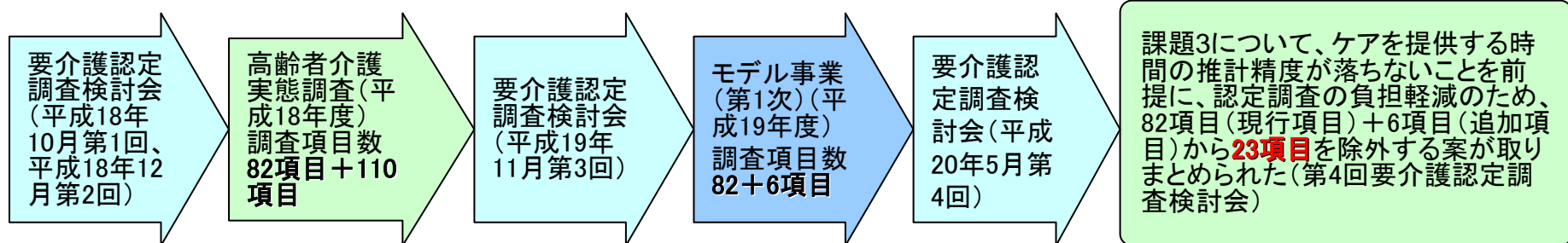
課題1、2については、第1回～第4回の検討会において検討。今回は課題3について検討を行う。

課題1 認定ロジックに使用しているデータが古い(現行のものは平成13年のデータを使用)

課題2 要支援2と要介護1の判別(現行は一次判定で「要介護1相当」と判定した上で、介護認定審査会の場で、「認知の具合」「状態の安定性」を基に判定されているが、これは煩雑な上に運用上のばらつきがある)

課題3 認定調査項目の見直し(調査項目が多く煩雑であり、精度が落ちないことを前提に認定調査の負担軽減の観点から簡素化を図れないか)

○これまでの経過



○第4回要介護認定調査検討会の取りまとめに対する関係団体等からの意見

- 問題行動に関係する「暴言暴行」「外出して戻れない」「火の不始末」「幻視幻聴」などは必要
- 生命に関わる項目(飲水等)は残すべき
- 平準化が図りづらい調査項目については検討が必要
- 要介護認定事務において調査項目が減少することは、認定調査の負担軽減に資するものとして肯定的に捉えている